

奈良教育大学生協 大学生生活説明会



[新学期]

取り組み概要

日時：3/14(土) 10:00～16:00
場所：奈良教育大学キャンパス内
参加者数や組合員の反応：約120名
学生委員会(1～3年生)…約20名

背景や概要：学生主体で進行や動画作成、相談対応まで担い、新入生や保護者の不安軽減につなげていました。専修ごとの免許・資格表や個別相談、選べる企画も充実しており、大学生活を具体的にイメージできる説明会になっていました。

学生の工夫が輝く大学生生活説明会

POINT.1

一目で伝わる資料で不安を見える化



個別相談では、各専修で取得できる免許や資格を一覧化した表が活用されており、参加者が自分に必要な情報をその場で確認できる工夫がされていました。

専修ごとの違いが分かりやすく整理されていたため、入学前に抱きやすい「自分は何を学び、どのような資格が取れるのか」という不安を軽減する材料になっていました。過去のデータや学生委員会メンバーへの聞き取りをもとに作成されていたこともあり、内容の信頼性が高く、参加者が質問を深めるきっかけにもなっていました。

POINT.2

選べる企画が参加者の主体性を引き出す

全体説明会や食堂体験の後には、合格者が自分の関心や不安に応じて参加する企画を選べる構成となっていました。相談会や1on1で先輩に直接話を聞ける場に加え、保護者会や学生会すごろく企画やキャンパスツアーなど、楽しみながら大学生活を知ることができる工夫も見られました。

一方的に説明を受けるだけでなく、自分から知りたいことを選んで動ける仕組みになっていたことで、参加者が主体的に不安を解消し、入学後の生活を具体的に考えるきっかけにつながっていたと感じました。



POINT.3

学びを自大学で形にした説明会



この説明会で特に印象的だったのは、進行や動画作成、ポスター作成、分科会運営、相談対応まで、全体を通して学生が主体となって運営していた点です。

また、学生委員会メンバーがセミナーや連帯を通して学んだ他大学の良さを、自大学に合う形で工夫して取り入れていたことにも大きな特徴がありました。学生の言葉で伝えられる内容は、新入生や保護者にとって身近で分かりやすく、不安の軽減につながっていました。参加者からは「有意義だった」「不安を解消できた」という声が聞かれ、さらに「次は支える側になりたい」と学生委員会に関心を持つ合格者もおり、説明会が前向きな変化を生む場になっていたと感じました。